

Lenovo

Lenovo TAB3

**安全上の注意と保証および
クイックスタートガイド**

目次

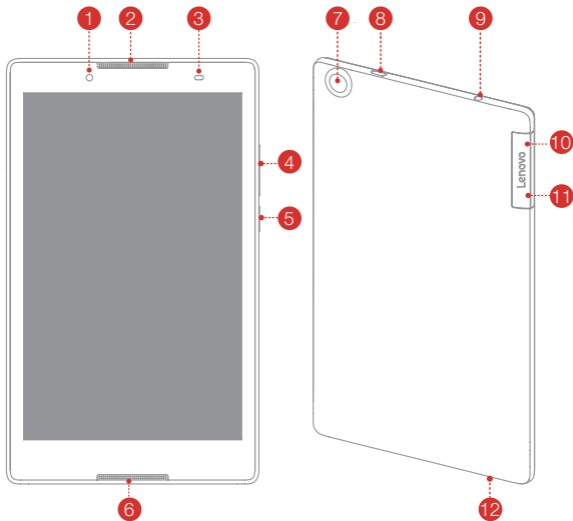
技術仕様	1
各部の名称.....	2
準備	3
使用開始	5
お問い合わせ先一覧	6
本製品の比吸収率（SAR）について	7
使用材料	13
保証とアフターサービス	14
知的財産権について	15
安全上のご注意	16
ご利用上の注意事項	27

技術仕様

Lenovo TAB3	
プラットフォーム	Android
プロセッサ	MTK MT8735、Quad Core 1.3 GHz
カメラ	5メガピクセル AF（背面）+ 2メガピクセル FF（前面）
内蔵電池	4290 mAh
ディスプレイ	サイズ: 8 インチ 解像度: 1280 × 800
通信方式及び帯域	Bluetooth 4.0 WLAN 802.11 b/g/n GPS/GLONASS ① *LTE、WCDMA、GSM

① ① LTE 周波数帯域 1、3、8、および 41 をサポートします。

各部の名称



① フロントカメラ

② スピーカー

③ ライト/近接センサー

④ ボリュームキー

⑤ 電源キー

⑥ スピーカー

⑦ カメラ

⑧ 外部接続端子

⑨ イヤホン端子

⑩ USIMカードスロット

⑪ SD カードスロット

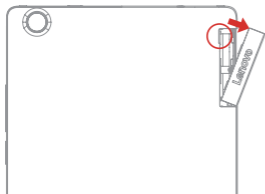
⑫ マイク

準備

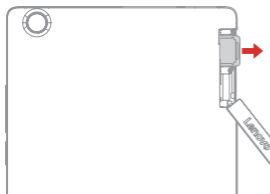
本機では、ワイモバイルによって提供される*USIMカードを挿入することによってデータ通信サービスを利用できます。

図に示すようにUSIMカードとSDカードを挿入します。

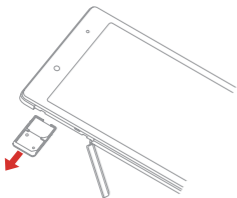
① USIMカードは、本機の画面では「SIMカード」と表示されます。



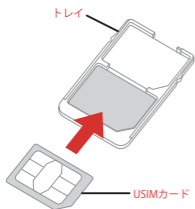
ステップ1. カードスロット・カバーのミゾ（○の位置）に指先をかけて、カードスロット・カバーを矢印の方向に開きます。



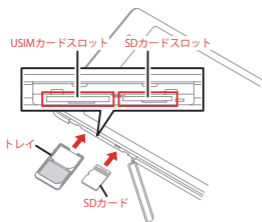
ステップ2. USIMカード用のトレイを、矢印の方向に少しだけ引き出します。



ステップ3. 本体のディスプレイ側を上にして、USIMカード用のトレイをすべて引き出します。



ステップ 4. USIM カードの金属端子面を上に向け、トレイの「1」と印字されたガイドにあわせて置きます。



ステップ 5. USIM カード用のトレイを、USIM カードスロットに挿入します。SD カードの金属端子面を上に向け、SD カードスロットに挿入します。

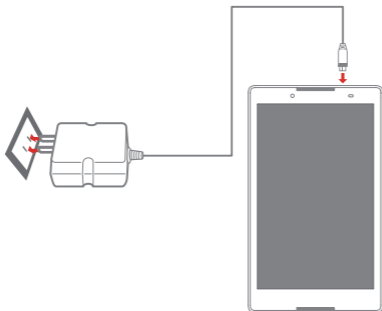


ステップ 6. 本体の背面側を上にして、カードスロット・カバーを矢印の方向に閉じます。

使用開始

ACアダプタは、別売のACアダプタ 1.0A [ZSDAY2]^{※1}、または共通ACアダプタ 1.8A [ZSDAY3]^{※2}をお使いください。

ここでは、共通ACアダプタ 1.8A [ZSDAY3] を使用して充電する方法を例に説明します。



本体に充電器を接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

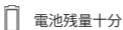
周辺機器についてはワイモバイルのホームページを参照してください。

※ 1 Y!mobile 用充電 AC アダプタ 02 microUSB (B タイプ) [AC02-MU-K]

※ 2 Y!mobile 用充電 AC アダプタ 03 microUSB (B タイプ) [AC03-MU-K]



電池切れ



電池残量十分



電池充電中

電源を入れる／切る

電源を入れる

ワイモバイルのロゴが表示されるまで電源キーを押し続けます。

電源を切る

電源キーを数秒押し続け、「電源を切る」>「OK」をタップします。

スクリーンショットの撮影

電源キーとボリュームキー（下）を同時に押し続けます。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ワイモバイル カスタマーセンター

お問い合わせの際に、ワイモバイルのスマートフォン・ケータイの電話番号と暗証番号（新規ご契約時にお客様にてお決めいただいた4桁の番号）が必要となります。

総合窓口（通話料有料）

ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから 151

一般電話、他社携帯電話から 0570-039-151

受付時間：9:00～20:00（年中無休）

各種手続き（通話料無料）

ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから 116

一般電話、他社携帯電話から 0120-921-156

受付時間：自動音声応答にて24時間受付（年中無休）

海外から（通話料有料）

+81-44-382-0800

受付時間：9:00～20:00（日本時間 / 年中無休）

※一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけない場合があります。ご利用いただけない場合は、「044-382-0810（通話料有料）」をご利用ください。

ワイモバイルホームページ

<http://ymobile.jp/>

本製品の比吸収率（SAR）について

この製品【Lenovo TAB3】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、この通信端末に対する SAR の許容値は 2.0 W/kg です。この製品を次に記述する所定の使用法^{*3}で使用した場合の SAR の最大値は 1.105 W/kg^{*2}です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この製品を人体の近くでご使用になる場合^{*3}

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から 1.5 センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

※ 1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）に規定されています。

※ 2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みます。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- ・ 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

- ・ 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

電波ばく露の影響に関する情報として、欧州における基準および米国連邦通信委員会（FCC）の基準を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この製品【Lenovo TAB3】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

詳細は、ワイモバイルのホームページを参照してください。

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6 W/kg となっています。

測定試験は機種ごとに FCC が定めた位置で実施され、下記のとおりに従って人体の近くでご使用になる場合は 1.35 W/kg です。

人体の近くでご使用になる場合：この製品【Lenovo TAB3】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCC の電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.5 センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCC の電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関（英文のみ）

<http://www.who.int/emf>

Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

This product [Lenovo TAB3] meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this product is 1.105 W/kg*** when used close to the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various products and at various positions, all products meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the product during operation can be well below the maximum value.

Use close to the body****

To use this product close to the body, maintain a separation of 1.5cm with no metal (parts) between it and the body. This will ensure this product meets the Japanese technical regulations for exposure and international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (Japanese)

This product [Lenovo TAB3] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. For details, see Y!mobile Website.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use worn on the body in a holder or carry case, is 1.35 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID XXXXXXXX.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on FCC Radio Frequency Safety website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

World Health Organization
<http://www.who.int/emf>

使用材料

使用箇所		材料	表面処理
カメラ		PMMA 樹脂	AR コーティング
電源キー		PC 樹脂	艶消し塗装
ボリュームキー		PC 樹脂	艶消し塗装
USIM カードスロット	トレイ	PC 樹脂 + ステンレス鋼	—
	ラベル	PET	—
スピーカー（表面）		ブラック：ステンレス鋼 ホワイト：PC 樹脂	ブラック：PVD ホワイト：—
画面		強化ガラス	—
筐体（前面）		PC 樹脂 + 30%GF	光沢塗装
筐体（背面）		PC 樹脂	艶消し塗装
カードスロット・カバー		PC 樹脂 + TPU	文字印刷
カードスロット内側のネジ		ステンレス鋼	亜鉛メッキ

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- ・ 本機の故障、誤作動または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な連絡先などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（連絡先／音楽／静止画／動画など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、最寄りのワイモバイルショップまたはお問い合わせ先（P.6）へご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。
- ・ アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのワイモバイルショップまたはお問い合わせ先（P.6）までご連絡ください。

知的財産権について




- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- Yahoo! および Yahoo!, Y! のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。
- Lenovo および Lenovo ロゴは、Lenovo Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth[®] は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- Google および Google ロゴ、Android および Android ロゴ、Google Play (旧 Android マーケット) および Google Play ロゴ、Gmail および Gmail ロゴ、Picasa および Picasa ロゴ、YouTube および YouTube ロゴ、Google マップおよび Google マップロゴ、Google マップナビおよび Google マップナビロゴ、Google Earth および Google Earth ロゴ、Google 検索および Google 検索ロゴ、Google 音声検索および Google 音声検索 ロゴ、Google ゴーグル (日本語未対応) および Google ゴーグルロゴ、Google バズおよび Google バズロゴ、Google Sky マップおよび Google Sky マップロゴ、Google トークおよび Google トークロゴ、Google+ ローカル (旧 Google プレイス) および Google+ ローカルロゴ、Google Latitude および Google Latitude ロゴ、Google カレンダーおよび Google カレンダーロゴ、Google ウォレットおよび Google ウォレットロゴ、Google ドキュメントおよび Google ドキュメントロゴ、Google Apps for Business、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Android Wear、Nexus は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- SD および SD ロゴ、SDHC、miniSD および miniSD ロゴ、microSD、microSDHC は、SD-3C, LLC の商標です。
- OMRON およびオムロンの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるオムロン株式会社の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

- ・ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ・ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ・ 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。





※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

外部接続端子、SD カードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

本機に使用する充電器は、指定されたものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

外部接続端子、SD カードスロットに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本機の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- ・コンセントから充電器を持ってプラグを抜く。
- ・本機の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



指示

本機を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本機や充電器の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

⚠ 危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

内蔵電池内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



指示

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本機内の USIM カードや SD メモリーカード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、USIM カードや SD メモリーカードの挿入場所や向きを間違えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本機の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

警告



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本機の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。



指示

通知音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本機を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本機に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、通知時のバイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本機に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本機は、最寄りのワイモバイルショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

⚠ 注意



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本機の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について→（使用材料：p.13）



指示

本機のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会〔平成 26 年 8 月〕）および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」（総務省）の内容を参考にしたものです。

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を 15cm 以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくおそれがある場合には、事前に本機を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本機の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

ご利用上の注意事項

ここでは、本機のご利用上の注意事項と、取扱説明書をダウンロードする方法が記載されています。

規制に関する情報

ワイヤレス通信機能を搭載した製品は、その無線使用を認可された国または地域の無線周波数と安全規格に適合しています。また、電気通信モデムが搭載されている製品は、該当する国の電話ネットワークへの接続に関する要件に準拠しています。

一部の規制情報は、タブレットの「設定」>「タブレット情報」>「法的情報」でも確認できます。

サービスおよびサポートに関する情報

本機を初めて起動する場合（およびインターネットにアクセスする場合）、本機のIMEI（International Mobile Equipment Identity）番号またはシリアル番号（SN）が、本機を最初にアクティブ化する国および都市に関する情報と共に Lenovo に送信され、登録されます。これは 1 回限りの登録です。携帯電話／タブレットが起動されたことを確認することにより、製品が正当なものであることを確認し、お客様へのアフターサービスをより円滑に行うことができます。登録の際に送信されるデータの量は 1KB 未満です。

安全性および取り扱いに関する重要な情報

ビニール袋に関する注意事項

危険：

ビニール袋には注意が必要です。窒息につながる危険があるため、ビニール袋は乳幼児の手の届かないところに保管してください。

内蔵型充電式電池に関する注意事項

危険：

内蔵されている充電式リチウムイオン電池はお客様自身では交換しないでください。電池の交換については、お問い合わせ先（P. 6）またはワイモバイルショップへご相談ください。

難聴に関する注意

本機にはイヤホン端子があります。ヘッドホン（ヘッドセットと呼ばれることもあります）またはイヤホンには、必ず、イヤホン端子を使用してください。

注意：

イヤホンおよびヘッドホンの音量が大きすぎると難聴になる可能性があります。イコライザを最大にするとイヤホンおよびヘッドホンの出力電圧と音量レベルが増加します。聴覚を保護するため、イコライザは最適なレベルに調整してください。

プラグが EN 50332-2 の仕様に準拠していないヘッドホンまたはイヤホンで大音量で長時間使用すると危険です。

本機のヘッドホン出力端子は EN 50332-2 第 7 条に準拠しています。この仕様は、本機の最大広帯域の真の RMS 出力電圧を 150 mV に制限するものです。難聴を防止するために、ご使用のヘッドホンまたはイヤホンが 75 mV の広帯域の規定電圧に対して EN 50332-2（第 7 条の制限）にも準拠していることを確認してください。EN 50332-2 に準拠しないヘッドホンを使用した場合、過度の音量レベルによる難聴の危険があります。

ヘッドホンまたはイヤホンを使用する場合は、そのヘッドホンまたはイヤホンが EN 50332-1（第 6.5 条の制限値）に準拠していることを確認してください。EN 50332-1 に準拠しないヘッドホンを使用した場合、過度の音量レベルによる難聴の危険があります。

音量に関する警告メッセージ

EN 60950-1: 2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011 に準拠してテストされた製品の場合、EN50332 のオーディオテストの実施が義務付けられています。

本機は、該当する EN 50332-1 および（または）EN 50332-2 標準で規定される音量レベル要件への準拠がテストされています。長時間にわたって大音量でイヤホンやヘッドホンで聴き続けると、永続的な難聴になる場合があります。



警告メッセージ

聴覚への損傷を防ぐため、大きな音量で長時間聴かないようにしてください。

環境、リサイクル、破棄に関する情報

リサイクルに関する全般的な声明

Lenovo は、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が不要になったときに責任をもってリサイクルすることをおすすめしています。また、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、さまざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルについて詳しくは、<http://www.lenovo.com/recycling> にアクセスしてください。

重要な WEEE 情報



×印がある車輪付きごみ箱のシンボルマークが付いている電気/電子機器は、地方自治体の無分別ゴミとして廃棄できません。廃電気/電子機器 (WEEE) は、お客様が利用可能な、廃電気/電子機器の返却、リサイクル、あるいは処理のための回収方法を利用しなければなりません。各国固有の情報は、Web サイト <http://www.lenovo.com/recycling> で入手可能です。

日本におけるリサイクル情報

日本でのリサイクルおよび廃棄についての情報は、Web サイト <http://www.lenovo.com/recycling/japan> で入手可能です。

リサイクルに関するその他の声明

タブレットのコンポーネントおよび電池のリサイクルに関する追加情報については、「ユーザーガイド」を参照してください。

電池のリサイクルマーク

台湾における電池のリサイクル情報



廢電池請回收

For better environmental protection, waste batteries should be collected separately for recycling or special disposal.

米国およびカナダにおける電池のリサイクル情報



US & Canada Only

EU における電池のリサイクル情報



エネルギー効率のマーク



有害物質の使用制限指令 (RoHS)

トルコ

The Lenovo product meets the requirements of the Republic of Turkey Directive on the Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE).

Türkiye AEEE Yönetmeliğine Uygunluk Beyanı

Bu Lenovo ürünü, T.C. Çevre ve Orman Bakanlığı'nın "Atık Elektrikli ve Elektronik Eşya Bazı Zararlı Maddelerin Kullanımının Sınırlanması Dair Yönetmelik (AEEE)" direktiflerine uygundur. AEEE Yönetmeliğine Uygundur.

ウクライナ

Цим підтверджуємо, що продукція Леново відповідає вимогам нормативних актів України, які обмежують вміст небезпечних речовин

インド

RoHS compliant as per E-Waste (Management & Handling) Rules, 2011.

ベトナム

Lenovo products sold in Vietnam, on or after September 23, 2011, meet the requirements of the Vietnam Circular 30/2011/TT-BCT ("Vietnam RoHS").

欧州連合

Lenovo products sold in the European Union, on or after 3 January 2013 meet the requirements of Directive 2011/65/EU on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment ("RoHS recast" or "RoHS 2").

For more information about Lenovo progress on RoHS, go to:

http://www.lenovo.com/social_responsibility/us/en/RoHS_Communication.pdf

メキシコのユーザーへの注意事項

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

適合証明書（欧州連合）

CE 0560

Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive

(R&TTE 指令)


この製品はRadio and Telecommunications Terminal Equipment Directive (R&TTE 指令) 1999/5/EC の基本要件およびその他の関連する規定に適合しています。

法的通知

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが米国一般調達局 (GSA: General Services Administration) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとしします。

技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。

次の操作で、技術基準適合証明に関する情報（等）を確認できます。

「設定」>「タブレット情報」>「認定」

FCC ID の確認について

次の操作で、FCC ID を確認できます。

「設定」>「タブレット情報」>「認定」

取扱説明書

本書の最新版やユーザーガイドは、ワイモバイルホームページからダウンロードできます。

<http://www.ymobile.jp/lineup/602lv/support/>

ユーザーガイドでは、本機の操作に関する情報をより詳細に記載しています。

本機またはパソコンで確認できます。

2016年10月第1版発行

ソフトバンク株式会社

※ご不明な点はお求めになったワイモバイル携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：Lenovo TAB3

製造元：Lenovo PC HK Limited



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

Reduce | Reuse | Recycle



Li-ion



**キケン！
水ぬれ充電**



**やめましょう、
歩きスマホ。**



70111116

Printed in China